



まっさき ～みんなで松前！元気計画 その5 たばこ編～

「やめてね」「ごめんね」と言えるまち

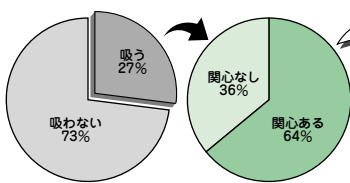
～たばこを吸う人も吸わない人も気持ちよく～

今回はたばこのテーマでお届けします。最近は施設内での禁煙が進んだり、「喫煙はニコチン依存症という病気(ニコチンという物質のために脳の変化がおきて依存性ができ、吸わないといわれなくなる病気)」という認識が広がりつつあるなど、たばこの害について考える機会も増えてきました。



〔松前町の状況〕

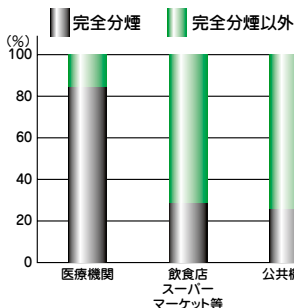
喫煙者の有無と禁煙の関心の割合



喫煙者の中で禁煙することに関心がある人は6割いるね。

平成12年度
健康意識調査

公共施設の分煙状況



医療機関では完全分煙が進んできているが、その他の施設ではもう一息！

平成14年健康に関する
社会資源・環境調査

そこで、松前町では以下のような取組みを行っていきながら「たばこをやめたい人がやめられるまち」「煙たがられないマナーのよいまち」「子どもに教育・注意ができる大人がいるまち」を目指して計画を推進していこうと考えています。

こんなにしよや～(一人ひとりの取組み)

- 吸う人も吸わない人もたばこのことに関心を持とう
- やめたい人は何度でも禁煙にチャレンジしよう
(禁煙外来やインターネットなどの活用を)
- 吸う人はマナーを守ろう
(喫煙場所を守る、ポイ捨てをやめる、断ってから吸うなど)

こんなにしていくな～(地域の取組み)

- 地域ぐるみで子どものまわりにはたばこを置かない・吸わない・吸わせない環境づくりを進めます
- みんなが集まる場では分煙を守ります
- たばこに関する情報を提供します

〔住民の声を聴く会での意見〕

- 未成年者が、手軽にたばこを手に入れやすい環境とそれを容認する大人…どうにかならないかな
- 飲食店では、ごはんも空気もおいしく食べたいね
- たばこを吸う時は、まわりの人に気配りをして吸ってほしいね
- たばこをやめたいと思ってもやめられないよね
- 公共の場では禁煙・分煙が進んでいる

喫煙歴が長い方への心配、若い世代への心配、喫煙者のマナーの問題など、意見は幅広くありました。

まずは、みんながたばこのこと…たばこの害や、上手な断り方や、禁煙するための便利な情報など…に関心を持ち、たばこを吸う人も吸わない人も気持ちよく過ごすことのできるまちになるといいね、と話し合いました。

ホットニュース 喫煙者に朗報

禁煙治療が保険適応に

～平成18年4月開始予定～

この数年間で、禁煙したい人をサポートする医療機関が増えてきました。

ニコチン依存症の方にとって大変つらい離脱症状の時期を、医師などによるカウンセリングとニコチンパッチ(写真)の使用を通じて乗り越え、禁煙に成功した方も大勢います。今までは、この「禁煙治療プログラム」は保険適応ではないため、全額自己負担となっていました。4月からは、この「禁煙治療プログラム」を受けたいと希望し「ニコチン依存症」と判定された方に対しては、保険適応として積極的に治療をするようになる見通しです。

禁煙したい人を、社会が温かくサポートする体制が整ってきました。

禁煙によるさまざまなメリットを、ぜひとも味わってください。

